

# ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校

巡回校：日野市立豊田小学校

令和6年11月号

## 2学期中間点

2学期も折り返しを迎えました。10月半ばまで暑い日が続き「今年は秋が来るの？」と心配した子供もいましたが、ようやく過ごしやすい気候に変わり秋の深まりを感じさせます。校庭の木々の葉も思い思いの色に染まり、秋が駆け足で過ぎていきそうです。

10月の学芸会では、それまでの練習での頑張りを発揮している姿がたくさん見られました。大きな行事を一つ終えて成長した様子が感じられます。

子供たちは、日々の学習に、様々な行事にと一生懸命に取り組んでいます。頑張らなくちゃ、頑張りたいと思うからこそ、「疲れた。」「めんどくさい。」「もう、いやだ。」といった言葉が出てきます。イライラすることや面倒に思うことは誰にでもあることですが、その気持ちをずっともっていたり何かに当たったりしてしまうと、周りの人を不快にし、自分の気分も悪くなります。そこで、ステップ教室では、自分に合った気持ちの切り替え方を日々考えています。経験を積み重ねていく中でステップ内ではもちろんのことですが、「この前、クラスでイライラしたけど、うまく切り替えられた!」といった声を聞くことがあります。

2学期も残り半分、こうした経験を少しでも積み上げられるようにしていきます。



### ～お知らせ～

#### ○ステップ教室個人面談

12月17日(火)～23日(月)

詳しくは、別紙プリントでご確認ください。

#### ○ステップ教室利用児童の保護者学習会 【南平小・豊田小の保護者の方対象】

12月23日(月) 10:00～12:00

明星大学教授の 竹内康二先生 をお招きし、ご講演いただきます。

講演内容・場所は、後日ご連絡いたします。

## 11月の学習予定

- ・協力して作ろう
- ・OKワードで伝え合おう
- ・相談リレー
- ・ボッチャ
- ・いただきフルーツ など

※児童の実態に応じて学習しています。一部の活動を紹介します。

### 【協力ジェスチャー】

動きだけで伝えること、動きを見て何を伝えたいかを考えることをめあてに取り組んでいます。

2～3人で一組になり、低学年には「大縄で中々入れない人」「サッカーをしている人」などイメージしやすいお題に、高学年には「学校」「コンビニエンスストア」「桃太郎」など抽象的なお題にしています。

解答者に伝わるように打ち合わせの時間を設けて練習を行い、伝わっていないようなら、再度打ち合わせ…とトライ&エラーを繰り返しながら行いました。解答者も「当ててもらえると嬉しい気持ちになる」ことを知っているので、粘り強く考えています。

「どうやる?」「こういう動きはどう?」「それと組み合わせで、こんなのは?」「もう一回、打ち合わせでもいいですか?」など、声を掛け合うことで、仲間意識を高めることができ、また、丁寧な言い方で教員にお願いする経験を積み重ねることができました。



### 【スライムづくり】

学芸会練習の佳境を迎え、子供たちに疲れやストレスが溜まってきた時期に、「安心できる時間を作ること」「説明を聞き、手順を守って作業すること」をめあてに取り組みました。

ステップでは人気のある活動の一つだったこともあり、経験したことのある子供も初体験の子供も皆、楽しみな様子が見られました。説明をろくに聞かずに失敗する教員のエラーモデルを見たことで、早く作りたい気持ちを抑え、説明を最後までよく聞いていました。

実際の工程では、材料の一部を共有したことで、「次に使ってもいい?」など、やりとりをする言葉かけが多く見られました。分量通りに材料を量り取ることに苦戦したり、固まりきらずに失敗したりする子供もいましたが、「もう一回やってみる」と言って、気持ちを切り替え再度挑戦する、といった姿が見られました。

完成したスライムの感触を楽しみ、「ぼくのも触ってみる?」など、お互いに声を掛けあう様子が見られました。楽しんだ後、持ち帰り方について約束すること（家に帰るまで、袋から出さないこと）を伝えると、どの子供たちも真剣に聞く様子が見られました。